



# 田中 かずみ ネット

vol.15  
2024 冬号

タイムライン 080-7949-2377



ブログ



ツイッター 投稿他 インスタグラム

## 十二月議会一般質問

子ども及び全ての人が幸福に生きていけるまちへ

**問** 「こどもまんなか」を目指す市長のもと、産後ケアの充実がはかられてきている。以前とはどう違うのか。

**答** 産後ケア事業には、宿泊型・デーサービスタイプ・訪問型とあり本市は訪問型を実施している。以前は一回毎千円だったが、今回から希望する全ての産婦の方が、5回まで無料で受けられる。遠慮なく利用してもらいたい。自宅の訪問を苦手とする方もいる。更にゆとり心身ともに休める宿泊型やデーサービスタイプ支援も、導入してはどうか。

**答** 休息や家事を目的とした利用も可能で、その間、お子さんの世話等も実施している。今後、訪問型以外の支援も調査研究していく。

**問** 子宮頸がんワクチンの接種機会を逃した世代の、公費負担での接種可能な期限が、令和六年度までとなっている。最終の高校一年生を含め、改めて情報案内を通知すべきと考えるがどうか。

**答** 無料接種終了時期やワクチンの有効性等必要な情報を個別通知していく。

**問** 男子大学生による男性への子宮頸がんワクチンの無料接種を求める署名が国に提出された。多くの先進国では本ワクチンは男女接種だが、男性への接種助成に対する本市の見解は。

**答** 男性の接種も疾病予防や、大切なパートナーを守るため有効であるが、全国的には先進的取組のため関係機関とその助成について、実施の可能性を探っていききたい。

●その他の主な質問  
●代読代筆支援  
●市職員の通年軽装  
●勤務↓実施市報一月号参照

## 様々市民相談をいただいています

2023年10月～12月まで●市民相談要望件数 41



公明党法律  
無料相談（議員通し予約）

	1月	2月	3月
県本部	19(金)	8日(木)	11(月)
		21日(水)	21日(木)
深谷	16日(火)	20日(火)	19日(火)
春日部	20日(土)	17日(土)	16日(土)



## 「令和5年度 一般会計補正予算」

補正予算額10億1,340万4千円 大規模予算を確保☆三

### 1) 子ども未来基金の創設

事業費:積立金5億円

本市の未来を担う子どもたちを安心して生み、健やかに育てるために、必要な切れ目のない支援を行う事業の財源を安定的に確保するため、「行田市子ども未来基金条例」を制定するもの。

●活用事業例:3歳未満の保育無償化など

本基金の創設に対して賛成討論をいたしました →【賛成理由】

- ①一般会計予算では継続執行が不安定なところを、積立金を利用することによる継続的な事業の安定的資金の確保ができる。永続的に本基金の設置目的に賛同いただきながら、広く寄付(ふるさと納税含む)も求めていける。
- ②3歳未満の保育無償は全国でも先進的取組であり「こどもまんなか」を目指す市の姿勢は、高く評価できる。
- ③外にあっては選ばれるまちに、内にあっては子育て世代に安心を与え、結果的に本市の未来を支える基金であるため、全市民への信頼を得られる。



### 2) 若者移住促進事業(奨学金返済支援)

債務負担行為:600万円

人口減少に歯止めをかけることが最重要課題であり、特に若年層(20代)の転出減少を緩やかにすることを目的とし、この若年層の移住促進を目指す。

●奨学金の1/2、上限12万円を最大3年間支援

会派として何度も奨学金支援は議会でも取り上げてきており、定住促進として実現することを、大変嬉しく受け止めています。



### 3) 小動物火葬棟整備事業

事業費:446万3千円

家族と同様の存在であるペットの一生に責任をもち、見届けたいという市民ニーズに応えるため。

2024年の幕が明けました。昨年は行田市長のもと、新たな息吹を感じる年となり、皆様のお声も実現でき、充実したものになりました。同時に全てのお声を実現できないことや、時間のかかることもあり、歯がゆい思いにかられることも少なくありませんが、全てが勉強となり、時には形を変え、大きく実現することもまた実感いたします。今年も自己研鑽を怠らず、誠実にそして真摯に働いて参ります。

#### 編集後記

発行元:公明党春日部  
総支部  
田中 和美事務所  
行田市門井町2-24-41  
Tel:080-7949-2377

